

海洋立国懇話会「セミナー」（開催概要記録）

	開催日	講師・テーマ・概要
第12回	2019年7月8日	ディープ・リッジ・テク 代表取締役 ラ・ブロンジェ新海工学会 代表理事 東京大学名誉教授 浦 環 氏 テーマ：「海に落ちたものは必ず見つけ出す - 海中工学の最前線」 概要：海中工学技術を駆使し、日本周辺の海に沈む沈没船などの調査・回収を行うことによる事故原因や歴史検証の必要性。
第11回	2019年4月25日	水産庁長官 漁業取締役本部長 長谷 成人 氏（総会後の講演会） テーマ：「水産業の現状と課題」 概要：世界と日本の水産業の現状、及び、日本における水産政策の改革実現によるより開かれた漁業界・水産業界への展開。
第10回	2019年3月11日	衆議院議員 山本 幸三 氏 テーマ：「日本経済の行方とその対応」 概要：日本経済成長の道筋と、その過程における、我が国の経済政策並びにアベノミクスのポイントについての解説。
第9回	2018年5月14日	総合海洋政策推進事務局長 羽尾 一郎氏（総会後の講演会） テーマ：「第3期 海洋基本計画について」 概要：第3期海洋基本計画案（当時）について、「新たな海洋立国への挑戦」に向けた多項目にわたる同案のポイント。
第8回	2018年1月25日	防衛省統合幕僚長 河野 克俊 氏 テーマ：「北朝鮮情勢と日本の安全保障戦略」 概要：北朝鮮情勢の概況と国際社会の対応状況、及び、ソマリア・アデン湾での自衛隊による海賊対処活動。
第7回	2017年11月29日	元防衛大臣 森本 敏 氏 テーマ：「日本を取り巻く現下の安全保障環境 - 朝鮮半島情勢と中国の海洋進出を中心に -」 概要：朝鮮半島情勢と中国の海洋進出などについて、日本を含む国際社会の対応及び安全保障環境についての着目点。
第6回	2017年11月29日	早稲田大学法学学術院教授 河野 真理子氏 テーマ：「国連海洋法条約の紛争解決制度と南シナ海に関する紛争」 概要：南シナ海におけるフィリピン・中国間の紛争における仲裁判断についての意義と今後の動向における注目点。
第5回	2017年7月6日	総合海洋政策本部参与会議 参与 古庄 幸一 氏 テーマ：「海洋立国日本として今何を」 概要：真の海洋立国日本における、グローバル化する世界の現状を踏まえた産・官・学の役割や連携の重要性。
第4回	2017年5月10日	東京大学名誉教授・日本海軍史学会会長、工学博士 安達 裕之 氏（総会後の講演会） テーマ：「海の歴史と文化 ～和船の船体構造の特徴について～」 概要：かつての日本国内の海上輸送において重要な役割を果たした多様な和船製造の技術とその歴史。
第3回	2017年2月2日	前海上保安庁長官 佐藤 雄二 氏 テーマ：「日本の海を守る - 海上保安庁の取組」 概要：海上保安庁長官の経験を踏まえた海上保安の現場・日本領海周辺における国際情勢の変化・課題への対応。
第2回	2016年12月6日	一般社団法人日本再建イニシアティブ（RJIF）理事長 船橋 洋一 氏 テーマ：「米国の新大統領就任に伴う今後の日米関係とアジアの海洋問題」 概要：トランプ新大統領の外交政策に伴う今後のアジアの海洋（東シナ海・南シナ海）の安全保障を巡る重要点。
第1回	2016年10月12日	外交評論家 岡本 行夫 氏 テーマ：「最近の国際情勢 - 海と陸の日本の安全保障を中心に」 概要：日米、南シナ海を巡るアジア・フィリピン情勢などを踏まえた安全保障を中心とした海洋国日本としての対応。